

ハローウィンのイベントを2023年10月21日に小山市中央公民館で実施し、26名の外国の親子が参加しました。今回は、「かぼちゃのお菓子入れ、こうもりのランプ、キャンディのくも」の3点の工作づくりを行いました。「お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ！」の言葉を、参加者たちの母国語で黒板に書いてもらい、世界にはたくさんの言語があることなどを考えてもらうきっかけを提供しました。子どもたちが自分で造ったお菓子箱を持ち、お菓子をもらいにスタッフがいる所まで行って、「Trick or Treat」「おかしちょうだい」等と言いながら、実際のハローウィンで行っていることを体験してもらいました。今回もイベントを通して、参加者同士がふれあいの時間を楽しみ、また、子育てに関する情報交換などを活発に行う様子が見られました。



協会の外国語講座がきっかけで発足したサークルが活動しています。お気軽にお問い合わせください。

サークル	曜日・時間	会場	連絡先	会費
中国語学習会	月2回 木曜日 13:00~14:30	小山市まちなか交流センター 研修室	090-7244-6451 井上	月 3,000円
初級英会話サークルハロー	第1, 3 土曜日 13:30~15:00	小山市まちなか交流センター 研修室	0285-25-2621 深町	月 2,000円
フランス語サークル (休止中)	第1, 3 水曜日 18:00~19:00	小山市まちなか交流センター 研修室	090-6181-8204 田中	月 2,000円
サークル・スペイン語	土・日曜日 10:00~12:00	小山市まちなか交流センター 研修室・他	090-8300-8421 合田	無料
イタリア語サークル	第2, 4 火曜日 10:00~11:30	小山市まちなか交流センター 研修室	090-6004-8596 望月	月 2,000円
フライデーイングリッシュ	金曜日(不定期) 16:30~	小山市まちなか交流センター 研修室	090-3698-3071 秋野	月 2,000円

入会は随時受付中！		スタッフ募集中！（ボランティアでイベントの企画/実施の協力をしてくださる方）	
年会費	●個人会員：2,000円 (4/1~3/31) ●登録団体会員：3,000円	●家族会員：3,000円 ●賛助団体会員：10,000円／1口	●学生及び外国人会員：1,000円
Membership fee structure			
★Students or foreign national members...1,000 yen / year			
★Regular member...2,000 yen / year ★Family membership ...3,000 yen / year			

**小山市国際交流協会**  
事務所：〒323-0023 小山市中央町2-2-21 小山市総合福祉センター1階  
(旧保健福祉センターは、2024年4月1日から小山市総合福祉センターに  
名称が変わります。)  
受付時間：9:00~17:00(土日祝日を除く)  
電話/FAX: (0285) 23 - 1042  
Mail: oyama6iea@tvoyama.ne.jp

協会NEWSがHPでも見られます。  
URL: <https://oyamaiea.com>

TOP NEWS  
せかいとおやま

… 日本語教室、協会設立30周年  
… 交流バスツアー、日本語教授法講座、  
ナイジェリア人留学生と叩こう 和太鼓、  
能登半島地震災害義援金募金活動、近隣市町村でのイベント、  
着物のリメイク

Information

… 設立30周年記念誌に関するお知らせ、外国人ふれあい子育てサロン事業

おやましこくさいこうりゅう  
せかいとおやま  
しんせいのりゅう  
せかいとおやま  
しんせいのりゅう

公式 Facebook を開設しました。詳しくはこちらをチェック

日本語教室

日本語教室は昨年と同様、昼のオンラインクラス（月曜・水曜）と夜の対面クラス（金曜）を行っています。学習者はパキスタン出身の方が多く全体の約4割を占めています。最近ではスリランカ出身の方も多くなり、2番目の数になっています。日本語を習いたい理由のほとんどは生活・仕事のためで、私立の日本語学校とは異なっています。  
対面クラスは夜の開校のため、学習希望者が多く順次受け入れています。課題として、多くの学習者が数回授業を受けただけで来なくなってしまうことが挙げられます。「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の4技能が初歩段階の学習者も多く、授業についていけないことが原因のひとつと考えられ、教える側としても一工夫が必要と感じています。日本語教育部会では、日本語を教えることに関心がある方、日本語指導力向上を目指す方向けに、毎年「日本語教授法講座」を開催しています。ぜひご参加ください。

今年の「日本語教授法講座」風景

日本語教室学習者の一人、中学生のデヘミさんにインタビューしました。

1. なぜ、日本語教室に通っていますか？  
「漢字が上手になりたいし、日本語を話せるようになりたいです。」

2. 教室の雰囲気はどうですか？  
「日本人と日本語を話せて楽しく勉強ができるから、この教室の雰囲気が好きです。」

3. これからの抱負  
「日本語を上手に話せるように、漢字を書けるようになりたいです。所属している部活でも頑張ります。」

デヘミ さん

小山市国際交流協会は、  
2024年9月に  
設立30周年を迎えます！

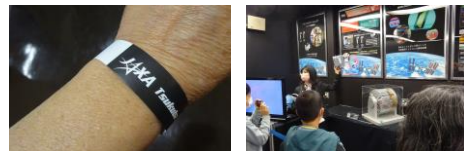


2023年11月26日、小山市国際交流協会は秋のバスツアーを開催しました。大人27人と子供11人、合わせて38人が参加。朝8時30分、小山市役所から出発しました。小山市はくもりでしたが、つくば市に到着したときは雨でした。はじめの目的地は、JAXA筑波宇宙センターです。そこで、宇宙の展示を見ました。そして、宇宙飛行士のトレーニングの場所や「きぼう」の管制室を見学しました。



次に、つくばエキスポセンターへ行きました。ここでお昼ご飯を食べて、プラネタリウムを見ました。星や宇宙の映像がとてもきれいでした。このツアーでは行きかえりのバスの中で、自己紹介をして、参加者同士の交流も図ることができました。そして、宇宙についても学ぶことができました。将来、参加者の中から宇宙飛行士が出るかもしれません。小山市国際交流協会の次の企画も楽しみにしてください。

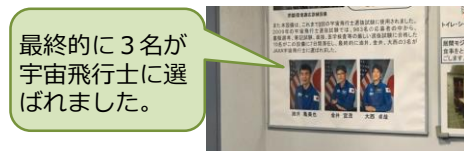
### 参加者からの感想文



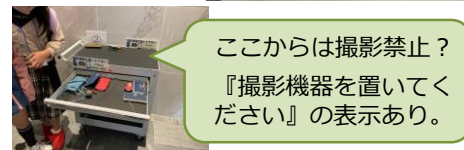
全員着用



窓のない部屋で1週間滞在、厳しい！



最終的に3名が宇宙飛行士に選ばれました。



ここからは撮影禁止？『撮影機器を置いてください』の表示あり。

バスで、つくばエキスポセンターに移動



たのしかったです。うちゅうひこうしになりたいです。(かえでより 小二)

子供と初めて参加しました。子供の視野を広げる目的もあるので体験や経験を今後もさせてあげたいです。今回のバスツアーは国際交流バスツアーという事もあり、少しずつでも多文化を学ぶお友達が身近にいる事を知ってほしいです。JAXA宇宙センターとエキスポセンターも初めての場所でしたが子供が興味深く関心を持ってくれました。(IS)

JAXAの展示は思ったよりはるかに大きくすばらしいものでした。こんな大きなものをロケットで打ち上げるなんてすごい！ しかもそれを完璧にコントロールする。展示物は10年以上前の物だろうが今のはどんなに発展しているのか舌を巻いています。(74歳 男 K.G)

The Tsukuba Expo center was a lot of fun. As a kid I was always interested in space and even dreamed of becoming an astronaut. As time passed it seems I've forgotten about this. This trip sparked those old memories and gave me the opportunity to feel I like a kid again. Also everyone was nice to me and was so helpful. People would always check to see if I needed help and the Japanese. Thank you so much Oyama International Exchange Association. Please invite me to the next event. (Joshua Seroggins)

一番面白かったのはプラネタリウムです。星座の見方がわかった気がします。ありがとうございました。(こころ 城東小5年)

アメリカの方とお話しできて交流が深めて楽しかったです。こういう場所がもっとあるといいなと思いました。(ひかり 城東小5年)

外国人の親子に日本文化に親しんでもらう目的で、2023年12月9日、小山市城南市民交流センター「ゆめまち」にて「日本のお正月」をテーマとした事業を実施しました。今回は、6か国39名の外国人の親子が参加し、しめ縄リースづくりと福笑いゲームを行い大変盛り上がりしました。しめ縄リースづくりについては、日本のお正月に欠かせない「しめ縄」の意味を紹介し、親子が協力して作り上げていきました。また、福笑いゲームについても、親子が楽しそうに顔を作り上げていく姿がとても印象的でした。最後に、「お年玉」について紹介し、参加者親子に「お年玉」をプレゼントして、終了となりました。今回も事業を通して、参加者同士が親子とのふれあいの時間を楽しむ姿がいたるところで見られ、楽しみながら日本の文化を学ぶ様子を見ることができました。また、テレビ局や新聞社にも報道していただき、サロンの事業について多くの方に周知することができました。



### 参加者からの感想文

作るの難しいと思ったけど、いがいと楽しかったし、簡単だった。家に帰ったら、かざろうと思ってます。(村上花心)

しめなわの作り方はむずかしかったけどいっしょうけんめいがんばった。作った後、きれいにできたからうれしかった。(ディネッタラ)

このイベントに参加して、どの子も一生懸命家族の幸せを願ってしめ飾りを作っていたことが嬉しく感じました。福笑いの活動中は、小さな子が出来上がった福笑いを見て泣いていましたが、理屈がわかるようになった小学生くらいの子はとても楽しんでいる様子でした。目隠しをした子どもは周りの声に耳を傾けて、保護者は子供がきちんと顔を仕上げられる様に必死に声掛けをしていました。日本のお正月、それは、家族の成長や幸せを願って、みんなで同じ時間を過ごす事なのかなと感じました。(スタッフ)





着物のリメイク

小山市に条約難民の家族が移住してきて以来、生活支援をしてきました。そこで分かったことは母国語以外の言語を話せない、小さな子供を抱えた女性が外に働きに出るのは非常に難しいということでした。何とか彼女たちが自立できる道はないかと考え、家で出来る仕事…思いついたのが「着物のリメイク」古布を再利用して、小物や洋服を作る技術を学ぶことだと思い、講座の開催を企画しました。2023年6月から指導の谷島先生と小川先生にお願いし、毎月1回第3土曜日の午前中、10回コース、中央公民館の和室でバッグやスカーフなどの作り方を教えて頂きました。最初は戸惑っていましたが、皆さんとてもミシンの使い方が上手で、手早く、楽しんで制作していました。「アフガニスタンの洋服と日本の帯や着物の生地とでコラボするといいかも」と提案したら早速帯の一部を使って洋服を作り、ニコニコしながら嬉しそうに見せてくれました。言葉は通じなくても心が通じて、みんなで歓声を上げました。3月31日にはギャラリーで展示をする予定です。ぜひ見に来ていただけたらと思います。



着物をリメイクしたドレス

設立30周年記念誌に関するお知らせ

この度当協会の設立30周年を迎えるにあたり、記念誌を発刊する運びとなりました。そこで、設立30周年記念誌の表紙デザインと、広告協賛いただける企業・団体等を募集いたします。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。ぜひともご支援・ご協力を賜りますよう、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

＜設立30周年記念誌 表紙デザイン募集＞

申込期間：2024年4月1日～7月1日  
対象作品：絵画、デジタルアートなど  
表彰：最優秀賞・優秀賞 各1作品 ほか  
作品展示：Oyamaインターナショナル  
フェスティバル2024（9月開催予定）  
会場にて展示予定  
募集詳細はこちら →



＜広告募集＞

応募期限：2024年7月1日  
発行部数：600部  
（予定／別途ウェブサイトにも掲載予定）  
配布対象：会員、行政機関及び関連団体など  
広告仕様：A4縦 1/8ページ当たり5,000円  
カラー印刷  
募集詳細はこちら →



設立20周年記念誌

日本語教授法講座

日本語教育部会では、1月20日から2月24日まで全5回で「日本語教授法講座」を開催しました。18人が受講し、外国人に日本語を教えるための基礎を学びました。「日本語ボランティア講師の役割」や「日本語教育の基本」等について、講師の神山英子氏の分かりやすい説明を受講者たちは高い関心を持って聞いていました。また、自分が外国人になったつもりで日本語を学ぶ授業を体験したり、異文化コミュニケーションのための傾聴を体験したりするグループワークなど、面白い取り組みもありました。受講者は、今後市内の日本語教室で、外国人の学習支援をしていくことが期待されます。

【講師コメント】

基礎的で初歩的なことを紹介しています。熱心な方々が多く、楽しく学習ができました。伴走者として、日本語学習者と一緒に学び合うことを大切にしています。



講師 神山英子先生

ナイジェリア人留学生と叩こう 和太鼓

ナイジェリア人留学生と和太鼓を叩く会が小山市島田で開かれ、広報部会のメンバーが取材をしました。「あわの会（リーダー・玉響さん）」や地元の子もたちの和太鼓の演奏に続いて、留学生も参加。参加者が奏でる音色が青空に響いていました。ゴッツウイルさん（ナイジェリア人留学生）「初めて太鼓を叩きました。とても面白い経験でした。」



能登半島地震災害義援金募金活動

2024年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生。多くの人たちが住む家を失い避難生活を送っています。小山市国際交流協会では、2月8日、9日、10日の3日間、小山駅構内“サクラミチ”にて“能登半島地震災害義援金の募金活動を行いました。2月の寒い日でしたが、現地で寒い中、避難生活を送っている被災者のことを考えるとそんなことは言ってられません。今回集まった募金は日本語教室（金曜）で集まった金額を含め合計44,039円。これは日本赤十字社を通じて「令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付いたしました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



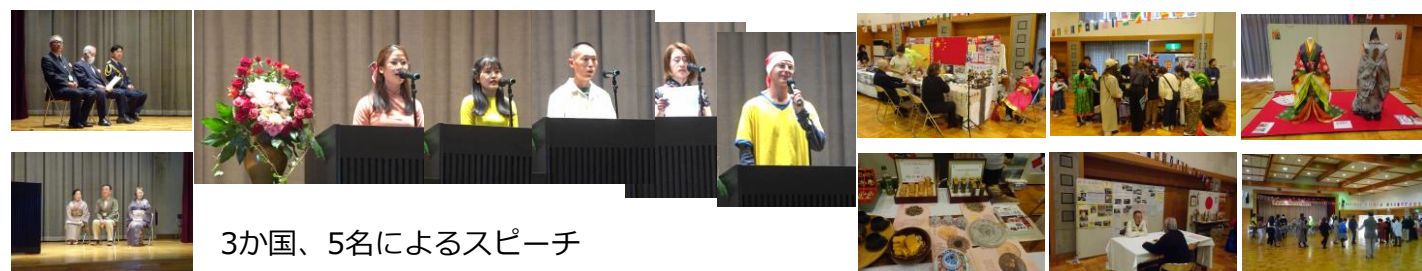
“サクラミチ”で募金活動





## 古河市 Winter Festival 2023 におじゃましました。

2023年12月10日、古河市国際交流協会主催の Winter Festival 2023が開催されました。小山市国際交流協会から2名が出席。場所は古河市郊外、とねミドリ館、小山市で言えば、マルベリー館のようなところです。冒頭、主催者側、来賓の方からスピーチがあり概要が見えてきました。コロナ禍で3時間の開催となった事、古河市の外国人は約5,000人、4つの部会があり、特に語学交流部会の日本語教室は3会場で昼 or 夜、無料で開催され、先生は33名、15か国から100名の方が受講中とのことでした。その後、演目に入り外国人によるスピーチが行われ、ベトナム、中国、スウェーデンから5名による、素敵な発表がありました。会場の周囲にはブースがあり、スウェーデン、フィジー、中国、フィリピン、日本 各国の物産の展示がありました。最後は会場の椅子を寄せみんなでゲーム等を楽しみました。



3か国、5名によるスピーチ

## 栃木ベトナムフェスティバル2023

2023年12月23日、宇都宮のオリオンスクウェアにて10時30分より行われたベトナムフェス。会場にはたくさんの屋台が並び、ステージでは様々な民族ダンスや衣装の紹介、披露があり、とても華やかなイベントでした。会場の一角で行われていたバトミントンとサッカーをあわせた様な遊びも、とても楽しそうでした。別の会場では揚げ春巻きを自分で作って食べるコーナーもありました。レシピを掲載しましたので、是非皆さんも試して作ってみてください。



実行委員長 ゲン フンタンさん (左)  
ゲン フン マインさん (右)

実行委員 コンアインさん (左)



自然豊かで歴史的な観光地が紹介されています



## 揚げ春巻きのレシピ

※レシピの掲載にあたり、会場で配布されたレシピをベースとしつつ、会場で行われた調理体験の実際の手順をふまえて一部編集しています。

春巻きの材料（4人分）：

- ・ライスペーパー 10-15枚 ・きくらげ 10g ☆塩 少々 ・挽き肉 200g
- ・春雨 20g ☆胡椒 少々 ・人参 1/2本 ・卵 1個 ☆ヌックマム 小さじ1
- ・油 1本 ・玉ねぎ 1個 ・椎茸 2個 ☆粒だし 小さじ1 ・細ねぎ 1/3袋

たれの材料：

- ・ヌックマム 大さじ2 ・お湯 大さじ2
- ・お酢 大さじ2 ・ニンニク 1片 ・唐辛子 1、2本
- ・砂糖 大さじ2 ・胡椒 少々

＜たれを作る＞

- ①分量のお湯で砂糖を溶かす。②①にヌックマムを加え、ニンニクと赤唐辛子を加えて混ぜる



作り方

- ①春雨ときくらげはお湯につけて、10分ほどおく。ざるに上げて水を切る。人参、玉ねぎ、春雨ときくらげ、椎茸はみじん切りにし、細ねぎも刻む。
  - ②ボールの中で粘りが出るまでよく練った挽き肉に、①の材料と卵、☆の調味料と油大さじ3を加えて、よくまぜあわせる。
  - ③ライスペーパーをぬるま湯にくぐらせた後、②の肉あんをライスペーパーの手前に置き、形を整える。
  - ④ライスペーパーの両端を内側に折り、手前からくるくると巻き上げる。
  - ⑤フライパンに春巻きが半分浸かるくらいの油を入れて徐々に温度を上げ、中温になったら春巻きを入れてカリッとなるまで、色よく揚げる。
  - ⑥最後に皿に揚げ春巻きを盛り付け、たれを添えて完成。
- ⇒料理のコツ：春巻きは、空気が入らないようにしっかりと巻くと、揚げる際に崩れにくくなる。肉だねは油を足すことによって、肉の水分が出にくく、パサパサしない効果がある。

## 実行委員 コンアインさんのコメント

今回のフェスティバルの開催は、少人数で準備したので、とても大変でした。でも、多くの方々に協力してもらい、今日を迎えることができました。皆さんに私たちベトナムの文化のことなど、いろいろ知っていただければと思います。

最初の一回を開催できれば、次にもつながるかなあと思って取り組みました。できれば毎年やりたいと思います。ベトナム料理をみんなに食べてもらいたいですね。



おいしい料理がたくさん提供されています。でも、ベトナムと言えば“フォー”が有名！

